



島小だより

平成30年(2018年)9月25日 第8号 電話 32-3510 FAX 32-3843

島小学校ホームページ <http://www.city.omihachiman.shiga.jp/~shimakko>

過去5年間の

全国学力学習 状況調査の結果より

島小学校の 課題と今後の生活

平成26年度から30年度までの島小6年生を対象とした上記の調査での「児童への質問(学習状況)」について全国・滋賀県と本校の平均から本校の傾向を比較し、分析しました。

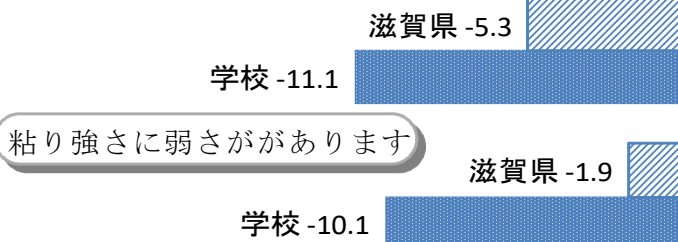
見方：主な質問項目について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の各回答の割合を全国を基準(0ポイント)として、これとの差異を算出し、滋賀県および島小ごとにグラフ化したものです。

一人ひとりの学ぶ力

問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

将来の夢や目標を持っていますか

-20.0 -10.0 0.0



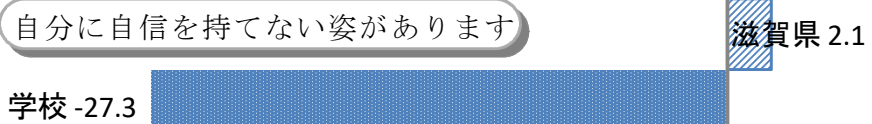
粘り強さに弱さがあります

将来の夢を持ちにくいという傾向にあります

努力・自信・可能性

自分には、よいところがあると思いますか

-30.0 -20.0 -10.0 0.0

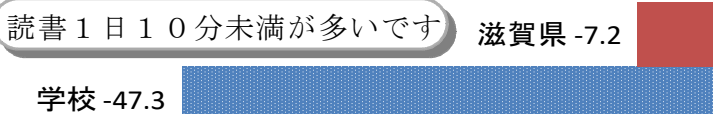


自分に自信を持ってない姿があります

生活での学び・読書

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか

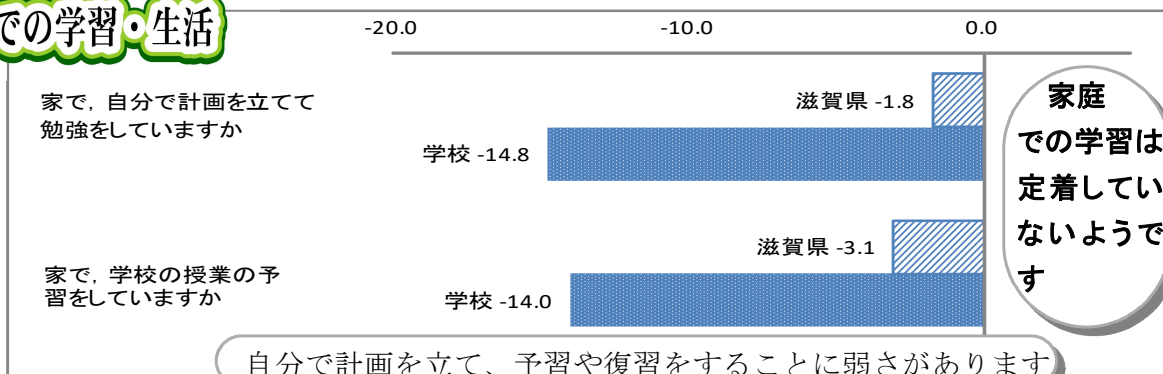
-60.0 -50.0 -40.0 -30.0 -20.0 -10.0 0.0



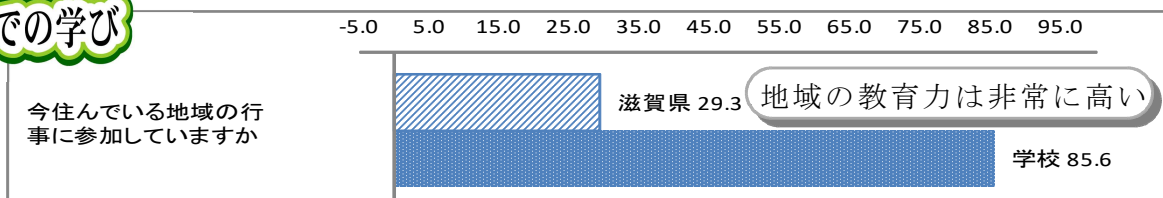
読書1日10分未満が多いです

学校での図書の貸し出し数は年々増加しています

家庭での学習・生活



地域での学び



学力調査の結果は

正答率では、年や教科によって差はありますが、過去5年間を平均すると、全国平均に少し届かない結果であり、課題として取り組んでいます。特に、長文を読み内容をとらえたり、自分の考えや意見を文章で表現したりすることに弱さがあります。また、基礎的な内容は理解し、全国平均と大きな差はありませんが、それを活用する力にも弱さが見られます。

学校の授業では

(主な努力点)

- 子どもの課題意識や疑問を大切にし、進んで考え、話し合い、発表するという主体的に学ぶ姿を育てていきます。具体的には、黒板をていねいに写すだけでなく、自分の言葉で考えを書いたり、習った学習用語を使って文に表したりし、考え・表現する力を高めるようにしていきます。
- 間違いをおそれず、何でも言える、認め励まし合える学級をつくらせていきます。
- 宿題では音読やドリルなど反復練習を大切にするとともに、子どもたちの主体的な家庭学習（ひとり学習）を支援する指導を行います。
- 上学年では「のびのびタイム（補充発展教室）」を継続・充実します。

家庭の生活では

特にお願いしたいこと

～家庭学習を充実させるために～

- 「宿題は必ずする」「ていねいにする、書く」「早寝早起き」など小学生の基本的な姿を再確認してください。持ち物のチェック、忘れ物がないようお願いいたします。
- 予習や復習の習慣を付けたり、習ったことを自分なりにまとめる「ひとり学習」を進めたりするなど、自ら計画を立て学習する習慣を育てましょう。「てびき」を参照
- 読書など文字を読むことを進んで行い、お家の方と会話し、教養や知識をえるようにしましょう。
- ゲームや携帯電話などの使用を一日1時間以内とする約束をもうけましょう。
(1時間以上すると児童の学習効率が下がる、という分析結果が出ています)